



(第19図)

(21) 高山町之図 (第19図)

年代 幕末～明治時代
 寸法 29.5×42.9
 所蔵 高山市教育委員会

この図は幕末～明治の頃の高山町絵図で、道路、横丁、寺社の名称が書かれているのが特徴である。一～三之町の横丁は南から「肴屋ヨコ丁」「ヒジリ横丁」「安川」「中村ヨコ丁」「カミヤヨコ丁」「平内ヨコ丁」の名称が記される。

東山寺院群では「守屋洞」「金ヒラ」「法花寺」「石キリバ」の表示が目を引く。空町では「金の神」「サクラノババ」「郷蔵」「吹所」「カケノウエ」の記述がある。

日枝神社は「山王」と別当の「松樹院」の2つが表記される。神仏習合の時代には日枝神社の境内に松樹院という寺があった。

杣形橋の跡は「大橋アト」と、位置が示される。現飛騨総社は「惣社」と表記される。

※掲載されている情報(文章、写真など)は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。